遠隔都市で国際セミナー

中部ジャワ州プルウォクルト

日本語教育学会とスディルマン大学

急増する学習者に対処を

国内各地の大学から集まった日本語教師の質問に答える（左から）尾崎氏と宮崎教授

インドネシア全国各地の大学の日本語教師の組織である日本語教育学会（ASPBJI）は二十八、二十九日、中部ジャワ州の遠隔都市プルウォクルト郊外のバトゥラデンへ日本から日本語教育専門家を招へいし、国際セミナー「インドネシアの中等及び高等教育における日本語学習ストラテジー」を開催した。

基調講演は、日本語教師養成の先駆者の一人、南山大学の伴紀子教授と、早大大学院日本語教育研究科の宮崎里司教授、招待講演はセミナーを後援した国際交流基金の尾崎裕子氏が務めた。

質疑応答では、ジャカルタやメダン、マナド、バリなど各地から集まった日本語教師百二十人が、効果的な言語学習ストラテジーの実践について、日ごろの試行錯誤を交えて質問。研究発表では、インターネットや電子メールで使われる日本語などをテーマにしたものもあった。

国際交流基金から国立スマラン大学に派遣されている日本語教師育成専門家の成田高広氏によると、中部ジャワ州で学士課程（S1）の日本語学科のある大学は州都スマランに三校あるのみで、ソロなどの中都市にもまだない。近隣の学園都市ジョクジャカルタ以外では未開発のままだ。

日本語教育学会の会員が集うセミナーは毎年開かれるが、今年は同学会のアグス・スヘルマン・スルヤディムリヤ会長の意向で、学士課程が設立されたばかりのプルウォクルトの国立スディルマン大学を激励する意味も込め、同大と共催したという。

同大のユシダ・ルシアナ日本語学科長は「一期生で四十七人も集まった外国語の学科は日本語が初めて」と話す。プルウォクルトは空港もない地方都市だが、サブカルチャーを通じて日本語に関心を持つ若者が急増。学生たちはフェイスブックに学科のアカウントを作成し、アニメの主人公などから取った日本人の名前を名乗るなどして情報交換しているという。

看護師・介護士候補の日本語教育研究などにも取り組んでいる宮崎教授は、高校の第二言語の一つに日本語が選ばれ、日本語学習者が七十万人と世界三位、非漢字圏で一位になったインドネシアについて「研究テーマになり得る非常に興味深い状況が生まれている」と語る。

しかし「学習者が必ずしも親日家になるとは言えない。日本語教師の質向上など、早急に対処すべき課題も多い」と警告。日本語学習と技術者養成を組み合わせるなど、言語教育と政策を同時に考えることができるインドネシア人の指導者育成も必要だと指摘した。

（配島克彦、写真も）

バリ日本語補習授業校

教室で楽しい初体験

大人と子どもで補習校祭り

バリ日本語補習授業校の保護者会は三十日、サヌールの同校庭で補習校祭りを開催した。校庭で保護者たちが手作り食品やリサイクル品などを販売し、教室内では子どもたちのために料理教室などを開いた。あいにくの雨にもかかわらず約千人が集まり、大人と子どもの両方が楽しめる楽しい一日となった。

キャラクター太巻き寿司に挑戦した小学校三年生の池山美由花さん。「料理は時々手伝っているけど、太巻きを作るのは初めて。とてもおいしくできた。お母さんも喜んでくれた。また作りたい」とうれしそうに話した。

保護者の平田杜丈子さんが指導した手作り小物教室では、バティックの布を使って髪留めのシュシュを縫った。平田さんの指導に深くうなずきながら針を持つ姿は皆真剣そのもの。縫い物は初めてという生徒もいたが、出来上がったシュシュを見て満足そうな笑顔を見せた。「簡単に作れて、しかも縫い目が少々粗くても目立たないと思いシュシュにしたが、思ったよりずっと上手にできた」と平田さん。

一方、校庭では保護者が用意したおにぎりやカレーの屋台が並び、その横では手作りのアクセサリーや衣料品が人目を引いていた。

補習校は毎年、デンパサールの免税品店プラザバリで資金集めのバザーを一般に向けて開いているが、今年は担当する保護者の負担軽減などを理由に補習校での開催となった。そのため規模こそ小さかったものの、教室での開催により、子どもたちも大いに楽しめる内容になった。

「例年のように一般の人との交流ができなかったのは残念だが、場所がいつも通っている補習校なので、保護者が安心して食品販売に専念したり、買い物を楽しんだりできた。教室では子どもたちが日ごろできないことを体験できたと思う」と保護者会会長の笹倉浩子さんは語った。

（バリ島サヌールで北井香織）

雨にもかかわらず活気を見せた雑貨販売＝バリ日本人会広報部提供

犠牲祭向け製造中

爆竹爆発、4人死亡

中部ジャワ州ドゥマック県サユンの民家二戸で三十日午後七時過ぎ、犠牲祭（イドゥル・アドハ）に向けて製造中の大型爆竹が爆発、四人が死亡し、数人が負傷した。

調べによると、爆発で家屋の天井や屋根などが吹き飛ばされた。塩化カリウムなど二十五キロの爆発物を用意し、直径五十センチ、高さ八十センチの爆竹を作っていたという。警察は爆竹を製造させていたとみられる民家の所有者を追跡している。

海外メディア機材持込

不当な高額関税に反発

SEAゲーム

十一月十一日―二十二日までパレンバンとジャカルタで開催されるSEAゲーム（東南アジア選手権大会）の取材のため、テレビカメラなどの機材持ち込みで数十億ルピアの関税を請求されたとして、一部の海外メディアが取材ボイコットを示唆するなど、インドネシア政府に対し厳重抗議を行っている。

地元メディアによると、税関当局はマレーシアのTV3に二十三億ルピア、タイの国営テレビ局TVTには十四億ルピアを要求。TVTは当初、四十五億ルピアだったが、交渉して十四億ルピアまで下がったという。

マヘンドラ・シレガル副蔵相は「すでに関税を緩和する用意がある」と騒ぎを収束させる方針を示した。

資生堂メイクアップショー

新作アイカラーを披露

日本人アーティスト参加

メイク指導をする加納さん（左から２人目）

資生堂の現地販売パートナーのディアン・タルナグナ社は日本から資生堂メイクアップ・アーティストの加納亜裕美さんを招き、三十日、西ジャカルタのモール・タマン・アングレック内のデパート「メトロ」で、「資生堂メーキャップ」の二〇一一年秋・冬新商品を披露するメイクアップ・ショーを行った。

大音量の音楽に合わせて、新色のアイカラーでメイクしたモデル十人が、赤い絨毯の上をかっ歩。買い物客約百人がキャットウォークを取り囲んだ。また、加納さんがメイクのデモンストレーションを行い、色の乗せ方のコツなどを伝授した。

新発売の商品は、クリームタイプのアイカラー「シマリング・クリーム・アイカラー」の新色十二色。色ぞろえは、日本の資生堂メーキャップと同じで、秋・冬らしいダークカラーが目立つ。また、すでに日本では発売中のファンデーションブランも発売した。

加納さんは、目元のカラーメイクがシンプルな日本と違い、インドネシアの女性たちはアイメイクの色遣いがカラフルで表現豊かだと語り、「アイカラーへの関心が高い。それぞれの目の形にあった色の入れ方などを伝えたい」と意気込みを語った。

加納さんは二十八日に南ジャカルタのモール・パシフィック・プレイス、二十九日にプラザ・スナヤンのメトロでもメイクアップ・ショーを行った。今後東ジャワ州スラバヤ、西ジャワ州バンドンのモールなどでもショーを行う。

（堀田実希、写真も）

じゃかるた じゃかるた

☆インドネシア生活セミナー、きょう開催

1日（火）午後零時15分―同1時、南ジャカルタのJCC2（Jl.Cipaku2 No.4 Kebayoran Baru Jakarta Selatan 12170）で。参加費無料。要電話予約。

日本では縁のなかったドライバーさん、多民族国家インドネシアでのタブー、インドネシア人の日常的な習慣など外国人がインドネシアを理解するポイントを分かりやすく講義する。

申し込み、問い合わせはJCC（☎720・3966、725・7266）まで。

☆第13回JJGFジャパンカップ参加者募集

20日（日）午前5時45分チェックイン、同6時半スタート。西ジャワ州ボゴールのジャゴラウィゴルフ&カントリークラブで。

ジャゴラウィ・ジャパン・ゴルフ基金（JJGF）が主催し、「ジャカルタ日本一」を競うゴルフトーナメントを開催する。

申し込みの締め切りは、11日（金）。

大会の詳しい内容や、申し込み方法などの問い合わせは、阿部さん（携帯0816・797・842、メールt-abe@ptdi-indonesia.com）、田中さん（携帯0816・955・740、メールshankyhiro@gmail.com）、磯崎さん（携帯0811・8072・060、メールisozaki@gpp.co.id）まで。

☆岡山県人第48回桃太郎会コンペ

27日（日）第48回桃太郎会コンペをサワンガンバルで午前6時スタート、同5時半集合で開催。

「帰りは多少楽ですよ。広くユッタリした各ホール、コシの強いネバリッケのあるグリーン、あのジャゴラウィより古い由緒あるコース、手ごろなお値段。岡山にゆかりのある方、県内の駅に降りられた経験のある方、参加大歓迎です」

問い合わせ、申し込みは海野さん（携帯0812・1028・189）、阿井さん（0812・1260・301）、堀さん（携帯0811・8300・367）まで。

JJC ソフトボール

30日の試合結果

●1部リーグ

アストラB	9	－ 0	ハラパン
伊藤忠	13	－ 5	コルト
パラダイス	16	－ 5	ヒーローズ

●2部リーグ

アストラA	20	－ 2	ＪＩＣＡ
ジュピターズ	18	－ 0	三菱
オールスターズ	9	－ 7	シーホース

●3部リーグ

エンバシー	18	－ 9	ライガース
三井	17	－ 6	双日
大林	4	－ 1	Bーダス
テイジン	12	－ 1	海亀会

インドネシアン・ヘリテイジ　メンバー募集

「インドネシアン・ヘリテイジ・ソサイエティ」の日本語セクションは、メンバーを募集している。

「インドネシアの文化を理解し、広めること」を目的に活動しているボランティア団体。30代から60代のジャカルタに住む主婦が中心。

主な活動は、日本人学校（JJS）でインドネシア理解のレクチャーを担当する「スクールプログラムス」、国立博物館で毎週、日本語ガイドを担当する「博物館ガイド」がある。

「ジャカルタ生活が、様々な視点でより味わい深いものとなります。ぜひご参加ください」

問い合わせは、スクールプログラムスは前田さん（携帯0812・1111・4113）、博物館ガイドはつるさん（携帯0813・1870・2044）まで。

ジャカルタ在住邦人のビッグバンド・ジャズ・オーケストラ「ギャラクシー」はメンバーを募集している。

ギャラクシーは世界のトップミュージシャンらがジャカルタに集結するインドネシア最大のジャズの祭典「ジャカルタ国際ジャワ・ジャズ・フェスティバル」（ジャワジャズ）に参加するなど活躍を続けている。

「トランペット、トロンボーン経験者大募集中です。まずは、お気軽に見学にいらしてください」

問い合わせは、小林さん（携帯0812・8767・857、メール chie@jac-recruitment.co.id）まで。

ビッグバンド「ギャラクシー」

音楽好き集まれ！

メンバー募集

☆JJC所属女声コーラスグループ「コール・ムティアラ」、新メンバー募集

ジャカルタ・ジャパン・クラブ所属の女声コーラスグループ「コール・ムティアラ」は、新メンバーを募集している。

毎週火曜日の午前9時半から同11時半まで、JJC会議室で活動している。

問い合わせは、高井さん（携帯0816・164・9462）まで。

☆バリダンス教室「パドマサリ」

■大人の部

毎週水曜日、木曜日午前11時―正午（週1回から可）

■子供の部（4歳から）

毎週月曜日、水曜日午後（レッスンは30分または1時間、週1回から可）

舞踊学校「Sumber Cipta」（ポンドック・インダ・モールから車で5分）で。

「バリ人の先生が基礎から丁寧に指導します。一緒にバリダンス楽しみませんか？」

体験レッスン随時受付中。問い合わせは、大人の部は高木さん（携帯0811・109・824）。子供の部は塩澤さん（携帯0812・8208・4001）まで。

◇　◇

県人会、同窓会などの情報を編集部にお知らせください。活動時の写真も大募集しております。

NHK　今日のみどころ

わが心の大阪メロディー
（後5・30）

庶民のバイタリティーと人生の哀歓が交錯する街、大阪。ここで生まれた「大阪のうた」は関西のみならず、日本中の老若男女の琴線に触れ、その時代を映し出してきた。日本を代表する歌手が大阪や関西にゆかりのある歌の数々を熱唱する。

【出演】NMB48、岡千秋、桑名正博、坂本冬美、天童よしみ、中村美律子、氷川きよし、平和勝次とダークホース、前川清、都はるみ、宮史郎など。

ドラマ10「カレ、夫、男友達」（新・1）「危険な関係」
（後8・00）

犬山家の三姉妹、次女の治子（真木よう子）は中東取材に出かける恋人の熊木（徳井義実）を見送る。そして淋しさが募る頃、元カレの八木（平岳大）と偶然出会う。

長女の麻子（木村多江）は夫・邦一（ユースケ・サンタマリア）と共依存の関係に縛られているが家族に打ち明けられずにいた。

三女の育子（夏帆）は、恋愛という感情を理解できずに悩んでいた。そんな折、母・洋子（高畑淳子）の生け花の展覧会が開かれ、久しぶりに家族が集まる＝写真。

育子は離婚して家を出た父・修司（長塚京三）に母が優しく接することが許せない。突然、三か月ぶりに熊木が帰国。治子は愛しさのあまり熊木の胸に飛び込み‥。